

## 国際IC協会インターナショナル評議委員会による

### 新型コロナウイルス危機に対するメッセージ

新型コロナウイルスが、世界で蔓延しつつある状況に対して、国際IC協会・インターナショナル評議委員会より次の文書が発信されております。

このような地球規模での危機に対して、ICメンバーである私たちにはICの価値に基づく責任ある行動が求められています。

皆様、是非ご一読いただきたいと思いますので、英文と日本語訳を掲載いたします。

なお、原文の日本語訳は会員の中島信子氏のご尽力によります。

世界のMRA/ICの友人へ

国際IC協会インターナショナル評議委員会からのメッセージ

(2020年3月15日)

このお知らせは今、多くの国でパニック状態となっている新型コロナウイルス(COVID-19)の影響に対して警告を発するものです。私たちは今、かつてない程の脅威に直面しており、多くの国では今後更なる悪化が予想されています。どうすれば良いのでしょうか。

手洗いの徹底、集団を避ける、体調が悪ければ自己隔離する(家で過ごす)などさまざまな情報を得てこの感染を予防したり、遅らせたりしています。

この危機を乗り越えるにはどうすれば良いか、その情報やアイデアを人に知らせるとい  
うプロアクティブな行動をとりましょう。確かに医療専門家の言葉にも留意せねばなりま  
せんが、専門家の知識だけでは十分ではありません。**全員の人々が今、一体感を持ち全員の  
献身が必要とされています。**

今、私たちは単に感染症と闘っているだけではありません。同時に広がっている脅威とも戦  
っています。それは、ウイルスとの闘いと、もう一つは、国の指導者や機関ですらこの危機  
を対処することが出来ない、という脅威です。私たちはこのパニックを少しでも鎮めるため。  
自分たちで出来る何かをしよう、そして事実に基づく、片寄らない責任ある行動をとりま  
しょう。

ホームレスのような弱い立場の人々に手を差し延べましょう。どの国であれ医療従事者を

サポートしましょう。彼らこそこの危機の最も過酷な局面を担っている人々です。彼らの士気を高め、連帯意識を持ち、特に隔離医療現場にくぎ付けの人、年配の人々などに心を寄せましょう。彼らを訪問することは不可能なことです、電話やオンラインの方法で交信はできます。励ましの言葉、思いやりのある言葉で勇気づけてあげましょう。心温まることや、思いを手紙で出しましょう。

一堂に会したイベントができない今、私たち一人一人は多分寂しい気持ちになっているかもしれません。そんな状況は私たちに自分自身のより深い部分に気付かせるチャンスになるかもしれません。自分を振り返り今後、個人として、また IC の一員として自分の進む道にそれを反映させるチャンスになるのではないのでしょうか。

このチャンスを活かして何か新しいものを造るのです。人生で発見したことを書いてみたり、新しい歌作りやスケッチ、小説などを書いたり、絵を描くこと、写真技術の腕を更に磨いたり、外国語に挑戦したり・・・もしかしたら自分のチェンジのストーリーをシェアする時の話し方を発見したりするかもしれません。

**私たちの生活とコミュニティーの中心に IC の価値と存在が今ほど求められる時はないのではないのでしょうか。**

皆様への思いと祈りをこめて、

モニール・ベルタイファ

国際 IC 協会インターナショナル評議委員会副会長